

# 豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第24号

発行日 2023.6.12

## 令和5年5月調査結果 “豊田の景況感、晴れ間が出るも全国比慎重な見方で緩やかに回復”

|    | 現状判断 D I |      |      |      | 先行き判断 D I |      |      |      | 水準判断 D I |      |      |      |
|----|----------|------|------|------|-----------|------|------|------|----------|------|------|------|
|    | 家計       | 企業   | 雇用   | 総合   | 家計        | 企業   | 雇用   | 総合   | 家計       | 企業   | 雇用   | 総合   |
| 豊田 | 54.4     | 47.4 | 51.5 | 52.9 | 55.2      | 49.1 | 54.4 | 54.2 | 46.0     | 43.3 | 48.5 | 46.0 |
| 全国 | 54.9     | 54.3 | 57.1 | 55.0 | 54.1      | 53.6 | 58.2 | 54.4 | 50.7     | 50.1 | 54.4 | 50.9 |
| 東海 | 54.7     | —    | —    | 52.5 | 56.3      | —    | —    | 54.6 | 50.5     | —    | —    | 51.4 |

※全国、東海は内閣府5月調査 【天気図の見方】 D I 値 ☀️ 大きな晴れ：60点以上 / ☀️ 晴れ：50～60点未満 / ☁️ 曇：40～50点未満 / 🌧️ 雨：40点未満

### 令和5年5月 調査結果総括

現状の豊田における景況感は、全ての業種で回復しているものの、新型コロナの5類移行による行動制限の緩和により、人が動くことによる経済活動の活性化をプラス要素として、一方で、消費者物価・企業物価の上昇をマイナス要素として、これらが相殺される形で限定的な回復に留まっている様子がうかがえます。全国に比べ、製造業が盛んな豊田にあって、モノ不足・資材・電気代等の高騰が大きく景況感にマイナス要素として影響している状況が確認できました。

先行き見通しについては、モノ不足の解消期待や受注回復傾向といった明るい見通しがある一方で、電気代をはじめとする物価高解消の見通しが立たないこと、人口減少や自動車のEV化などの構造的に抱える課題を懸念する声もあり、慎重な見方をされている様子がうかがえます。従来の調査から判明している、景況感を慎重に見る傾向の強い豊田においては、今回の調査結果も全国比慎重な見方が保持されました。

### 令和5年5月 特別調査結果

【所得見通し調査】所得が増えていくことへの期待感の回答割合は、2019年5月コロナ禍前の水準26.6%に迫る24.2%まで高まっています。

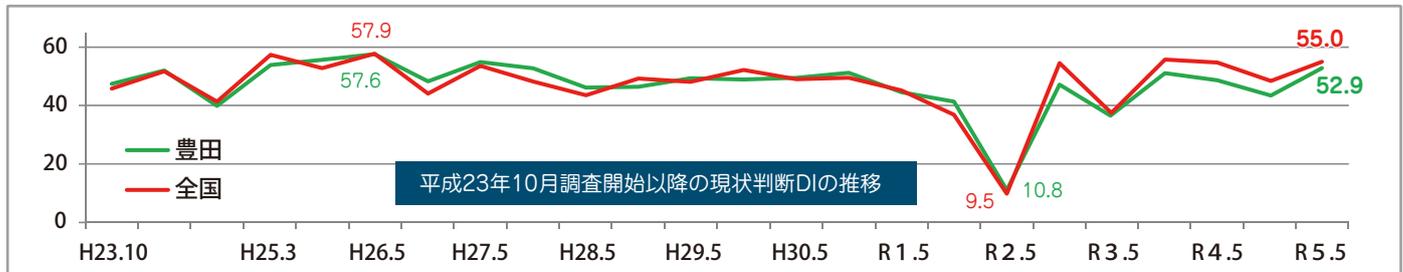
【お小遣い調査】変わらないとの回答が依然70%となっており、お小遣いは増えているとの回答は微増(0.6p増)に留まっています。

【新型コロナの消費活動への影響】コロナ禍前の消費活動の状況に戻ってきている様子を確認していますが、本格的な回復にはまだ遠い状況です。

【外食の頻度】外食はコロナ禍前と比べ減っているとの回答が44.5%となり、豊田景気実感調査における飲食DIの低迷が表れています。

【GWの旅行の有無等】GWに旅行された方は約3割でした。新型コロナを懸念して旅行に行かなかった方は6.6%に留まっています。

その他、デジタル給与払いに関する調査とマイナンバーカードに関する調査も行い、裏面に掲載しております。是非、ご確認ください。



1. 調査期間：令和5年5月8日～31日

2. 調査客体：295名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：227名 / 有効回答率：76.9%

3. 調査項目：  
 ・2～3ヶ月前に比べ現在の景気はどう変化したと感じますか？ ⇒ 現状判断 D I  
 ・2～3ヶ月前先の景気は現状に比べどう変化すると予想しますか？ ⇒ 先行き判断 D I  
 ・現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断 D I

<問い合わせ先>

豊田商工会議所：谷川

0565-32-4594

豊田信用金庫：高橋

0565-36-1384

4. D I 算出方法：

| 評価段階  | 5       | 4         | 3     | 2         | 1       |
|-------|---------|-----------|-------|-----------|---------|
| 現状判断  | 良くなっている | やや良くなっている | 変わらない | やや悪くなっている | 悪くなっている |
| 先行き判断 | 良くなる    | やや良くなる    | 変わらない | やや悪くなる    | 悪くなる    |
| 水準判断  | 良い      | やや良い      | どちらでも | やや悪い      | 悪い      |
| 付与点数  | 1       | 0.75      | 0.5   | 0.25      | 0       |

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%比）を出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それがD I 値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協働し半年に1回（5月/11月）実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から構成しています。なお、本調査では別に「特別調査」を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

# 現状判断

## 総括

総合DI (豊田) 良化



●前回は

- ・総合：良化 (曇→晴)
- ・家計：良化 (曇→晴)
- ・企業：不変 (曇→曇)
- ・雇用：良化 (曇→晴)

●全国比

- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：不変 (劣位→劣位)

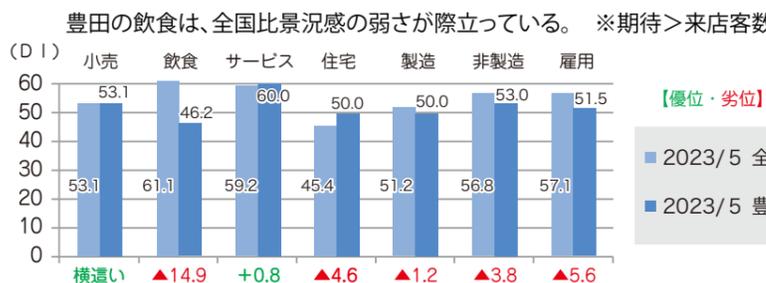
## 業種別内訳

来店客数の伸び悩み、仕入高を要因に飲食のみ、景況感は伸び悩んでいる様子。

前回は



全国比



豊田の飲食は、全国比景況感の弱さが際立っている。 ※期待>来店客数

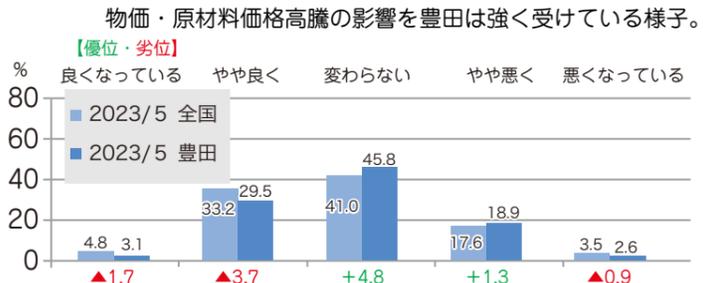
## 評価段階別内訳

行動制限の緩和、消費活性化を期待する声が増加している。

前回は



全国比



物価・原材料価格高騰の影響を豊田は強く受けている様子。

## 景気モニター生の声

< + : 回復感あり - : 回復感なし >

※家計動向=家、企業動向=企、雇用関連=雇、と略

- + 新聞、ニュースはもちろん、実際に知り合い等も買い物や行楽に出かける機会が増えており、人の動きが活発になりつつあると感じている。(家：小売関連経営者)
- + 飲食店からの送迎増加など、夜にお客様が出てきた。(家：タクシードライバー)
- + 仕事の受注が増えている。2か月前は過去最低に厳しい状態にあった。そういう意味では現在は良くなってはいるものの、まだまだ厳しい状態といえる。(企：電気機械器具経営者)
- + コロナ禍がひと段落し、安定した高水準の生産が続いている。(企：輸送用機械器具従業員)
- + 遺言、家族信託など生前対策の客数、不動産登記の件数が増えている。(企：司法書士)
- + 製造業・サービス業における新規求人数が増加。(雇：職業安定所職員)
- 値上げされた商品が多いため低価格のものに興味が変わり味気味である様子がうかがえる。(家：コンビニ経営者)
- 消耗品の価格が高騰しているが、価格に転嫁させて頂けない。また世間の人件費高騰により弊社でも人件費を上げなくてはならなくなった。(企：金属製品製造業経営者)
- 資材高騰、電気代、食料品等の度重なる値上げ等の影響により需要動機が沸き上がってこない。将来の不安等で買い控えが強まっている様子。(企：輸送用機械器具従業員)

# 先行き判断

総合DI (豊田) 良化



●前回は

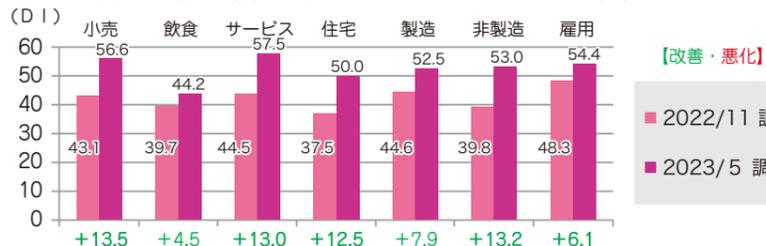
- ・総合：良化 (曇→晴)
- ・家計：良化 (曇→晴)
- ・企業：不変 (曇→曇)
- ・雇用：良化 (曇→晴)

●全国比

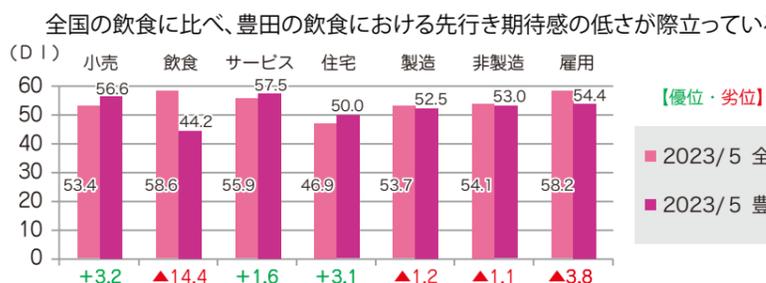
- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：良化 (劣位→優位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：悪化 (優位→劣位)

全業種で先行き期待感が高まっているものの、飲食では低位となっている。

前回は



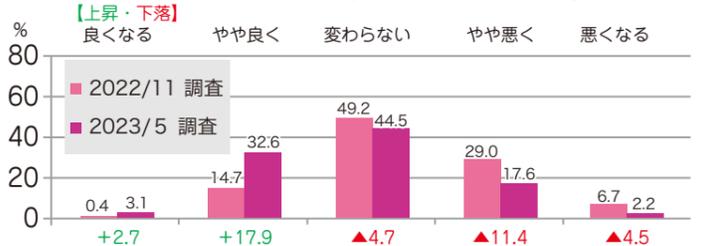
全国比



全国の飲食に比べ、豊田の飲食における先行き期待感の低さが際立っている。

新型コロナ5類移行による景況感回復見通しが強く表れている。

前回は



全国比



全国比、評価段階に大きな差はない状況。

総合DI (豊田) 良化



●前回は

- ・総合：良化 (雨→曇)
- ・家計：良化 (雨→曇)
- ・企業：良化 (雨→曇)
- ・雇用：不変 (曇→曇)

●全国比

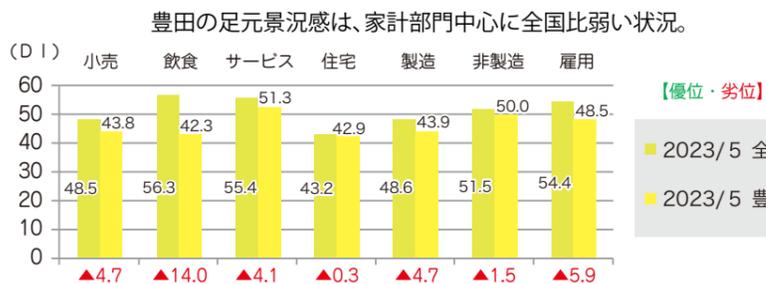
- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：不変 (劣位→劣位)

全業種で足元の期待感が高まっており、回復傾向が確認できる。

前回は



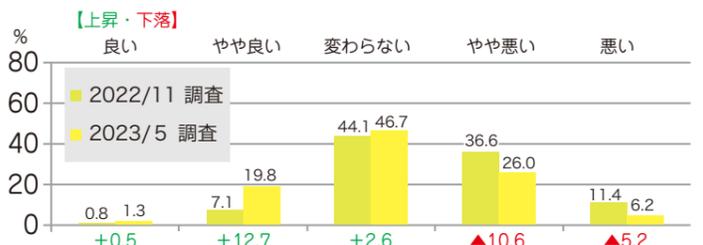
全国比



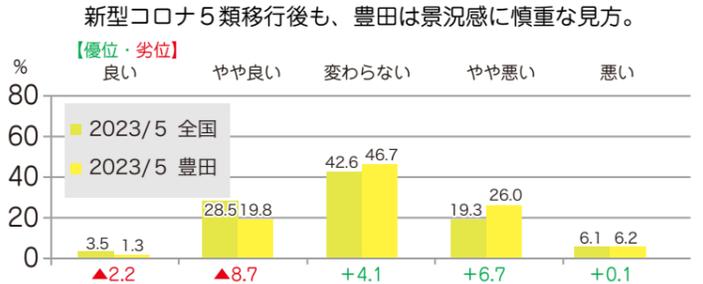
豊田の足元景況感、家計部門中心に全国比弱い状況。

足元景況感新型コロナの影響が和らいでいる様子を反映。

前回は



全国比



新型コロナ5類移行後も、豊田は景況感に慎重な見方。

## 自由回答：景気モニターからの貴重な声

- 高齢者がオーナーの弱小店舗ではインボイス対応が出来ず、これを機会に廃業や閉店の声を聞く。施行を数年猶予するなどしないと店舗が持たないと思います。
- コロナが5類になり行動制限がなくなり、平素に戻ってくれるのは大変ありがたい。売上が大きく変化しないのはコロナ前と生活パターンが大きく変化した事も原因の一つだと思う。私達も対策をしていく必要がある。行政、商工会議所も対策ツールを提案して頂き、時流にのれるよう努めたい。
- 今でも人手不足や人件費高騰が課題ですが、今後もっと深刻な問題となるため対策をお願いします。
- 子育て世帯の負担軽減。高校生の医療費無料や子供手当。高速道路下の有効活用(スポーツ施設などの活用)などが必要。
- 専門店の先行きに光が見えない。情勢としては EC 関連が無視できないと思うが、有名 EC サイトを利用して手数料が価格競争などでメリットが乏しい。信頼できる商工会議所が旗振りをして手数料も良心的に地元小売業・企業が参加できる EC サイト開設を期待したい。
- 豊田市駅周辺に魅力的な商業施設が少なく盛り上がり欠けていると感じます。ここから良くなっていくと景気向上に繋がる気がします。
- 景気減退には少子化も影響していると思いますが調査されないのですか。→次回、調査したいと思います！

～ 貴重なご意見、ありがとうございました。～

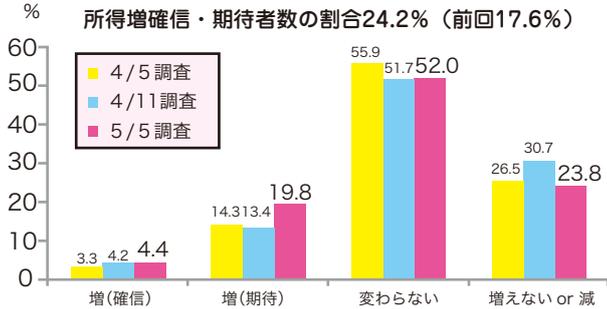
# 水準判断

# 【特別調査】

## 所得見通し※ 消費意欲の調査

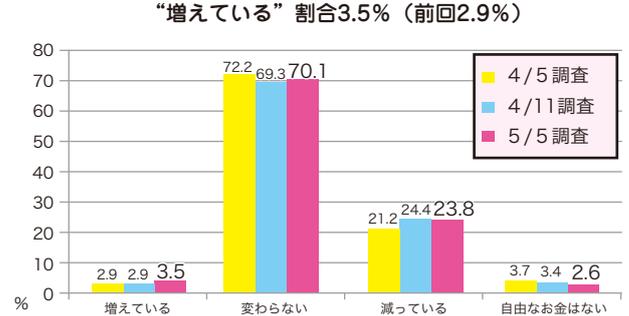
※平成24年から調査を継続しています。

今後、所得は増えていくと思いますか？



所得増への期待感は2019年5月（26.6%）以来の20%超え。「コロナ禍」により10%台の水準に低位推移していた所得増への期待感が、20%を超える割合まで上昇しています。「コロナ禍」の落ち着いたにより経済活動が活性化し、所得に反映されてくるとの期待感の強さがうかがえます。

自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？

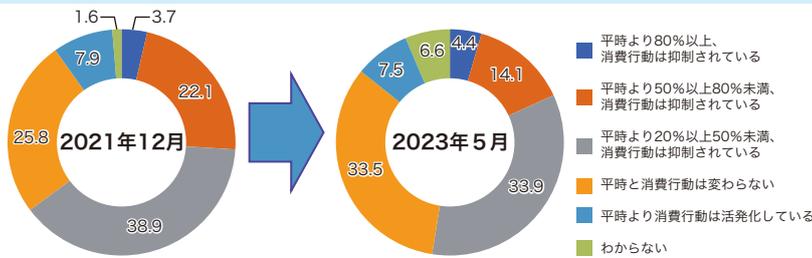


消費活動に直結する「お小遣い」については、増えているとの回答が微増していますが、所得増を期待する声を相殺する形でモノの値上がり、物価高の影響が存在し、「変わらない」との回答が70%を超える状況に落ち着いています。

## 新型コロナの影響に関する調査

※5類移行後の調査結果。

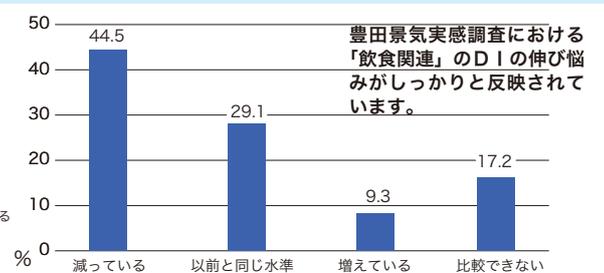
新型コロナ流行前に比べて現在の消費活動の状況は？



消費活動が回復傾向にあることを確認しています。

「平時と消費行動は変わらない」との回答が7.7p増加し、コロナ禍で大きく抑制されていた消費活動が平時に戻ってきている様子が見えつつあります。しかしながら、依然20～50%の消費活動の抑制との回答も33.9pとあり、本格的な消費活動の回復には至っていないことも確認しています。

新型コロナ流行前に比べて現在の外食の頻度は？

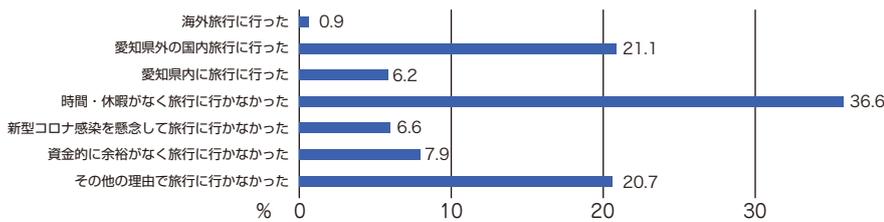


豊田景気実感調査における「飲食関連」のDIの伸び悩みがしっかりと反映されています。

外食の頻度はまだコロナ禍前に戻っていないことを確認しています。

外食の頻度が減っているとの回答が44.5pとなり、飲食業の景況感が低位していることを裏付ける調査結果となっています。所得増の期待感の高まりはあるものの、財布の中に変化がない現状において、新型コロナの行動制限の解除という明るい話題はあるものの、暫くは外食を控える傾向が残るものと思われる。

ゴールデンウィークはどこかに旅行しましたか？



旅行に行かれた方は28.2p、行かなかった理由は「混雑回避」の声が多く寄せられました。

新型コロナ感染を懸念して旅行に行かなかった方は6.6pに留まり、子供の休みと親の休みが合わない、取って混む時期に旅行しないといった声が目立ち、新型コロナが旅行自粛に与える影響は相当小さくなっている様子が見えつつあります。

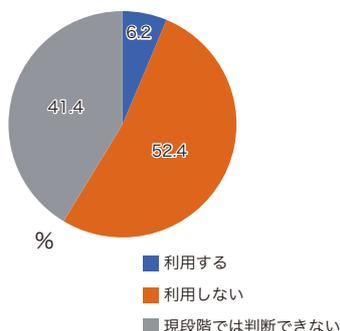
## デジタル給与支払いに関する調査

勤務先はデジタル給与支払いを導入していますか？

注：2023年4月1日にデジタル給与支払いが解禁されました。

|         |      |
|---------|------|
| 導入している  | 0.4  |
| 導入していない | 88.5 |
| 導入予定    | 2.6  |
| わからない   | 8.4  |

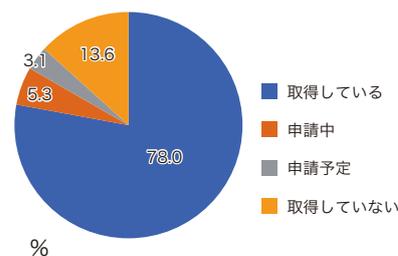
利用できる場合、利用しますか？



給与を銀行口座だけでなく、●●Payなどにも振り込むことができる「デジタル給与支払い」ですが現段階においてはセキュリティ面などを懸念し、「利用しない」と回答された方が52.4pとなっています。制度が開始されて間もないため、今後の動向に目を配っていく必要があります。

## マイナンバーカードに関する調査

マイナンバーカードを取得していますか？



政府の取得推進策もあり、当地域においてもマイナンバーカードの取得が進んでいることが確認されています。全国では2023年6月4日時点で取得率77.1%となっており、全国的に見てもマイナンバーカードの取得率に大きな差はない状況です。政府による安定的な制度運用が取得率向上には必須であります。

マイナポイント利用場所：上位3ヶ所

|    |                     |
|----|---------------------|
| 1位 | コンビニ（16.7%）         |
| 2位 | スーパー（12.3%）         |
| 3位 | 大型ショッピングセンター（11.9%） |